11年ぶり決勝トーナメントへ

サッカー新人戦紀南地区予選

本校サッカー部は新人戦紀南地区予選に出場し、8チーム中4位の結果を収め、決勝トーナメントへの進出を決めた。新人戦で決勝トーナメントに進出するのは11年ぶりである。前半戦は粘り強く戦うことができ、強豪相手に引き分けたり、接戦を制することができ2勝2分と好調なスタートを切った。後半戦になると、試合内容は圧倒しているが得点に結びつかなかったり、集中力が途切れた瞬間の失点などがみられ、1勝2敗となかなか思い通りの結果に結びつかなかった。しかし、決勝トーナメントに進出を決めたことを素直に喜び、選手の頑張りを褒めたたえるとともに、応援をしていただいた方たちに感謝したい。この結果に満足せず、決勝トーナメントでは他地域の1位チームと対戦することになるが、周りの予想を覆す大波乱をおこせるようにチーム一丸となって頑張りたい。

〈新人戦紀南地区予選結果〉

3勝2敗2分　勝ち点11　得失点8

▽平成26年
12月20日　VS田辺高校　0―0
12月21日　VS串本古座高校　1―0
12月23日　VS近大新宮高校　1―1
12月26日　VS南部高校　10―0

▽平成27年
1月10日　VS新宮高校　0―1
1月12日　VS田辺工業高校　3―2
1月17日　VS神島高校　0―3

バドミントン新人大会結果

今回の新人戦では、男子1部ダブルス3年連続優勝を含む、ダブルス3冠、シングルス1冠、計4冠を達成した。選手たちにとって、6月のインターハイ予選へ向けての良いスタートになった。「勝って兜の緒を締めよ」と言われるが、この結果に満足せず、もう一度気を引き締めて頑張っていきたい。

＜男子1部ダブルス＞
尾﨑優真・天野未郷ペア　優勝
2回戦　尾﨑・天野【新翔】（2－0）新田・田村【近大附】
3回戦　尾﨑・天野【新翔】（2－0）林　・岸部【耐久】
4回戦　尾﨑・天野【新翔】（2－0）福山・中井【紀央館】
準決勝　尾﨑・天野【新翔】（2－0）角　・櫻井【那賀】
決勝　尾﨑・天野【新翔】（2－0）中野・山本【粉河】
新翔高校は3年連続優勝

＜男子2部ダブルス＞
前川良輔・田中幸哉ペア　優勝
1回戦　前川・田中【新翔】（2－0）篠崎・西田【熊野】
2回戦　前川・田中【新翔】（2－1）福西・三好【耐久】
3回戦　前川・田中【新翔】（2－0）須﨑・塩路【熊野】
準決勝　前川・田中【新翔】（2－0）西川・前田【粉河】
決勝　前川・田中【新翔】（2－0）野下・松井【新宮】
林秀和・大谷竜希ペア　2回戦進出
1回戦　林　・大谷【新翔】（2－0）前田・松岡【星林】
2回戦　林　・大谷【新翔】（1－2）西川・前田【粉河】
坂本達矢・湊大輝ペア　2回戦進出
1回戦　坂本・湊【新翔】（2－0）中岡・前田【粉河】
2回戦　坂本・湊【新翔】（0－2）伊東・河嶋【星林】

＜女子2部ダブルス＞
泉愛理沙・山内風ペア　優勝
2回戦　泉　・山内【新翔】（2－0）西　・脇村【熊野】
3回戦　泉　・山内【新翔】（2－0）山本・栢木【向陽】
準決勝　泉　・山内【新翔】（2－0）北條・大南【星林】
決勝　泉　・山内【新翔】（2－0）池田・田中【熊野】

＜男子1部シングルス＞
天野未郷　ベスト8
尾﨑優真　3回戦進出

＜男子2部シングルス＞
坂本達矢　ベスト16
大谷竜希　2回戦進出
林秀和　ベスト8
前川良輔　2回戦進出
湊大輝　1回戦敗退
田中幸哉　ベスト16

＜女子2部シングルス＞
泉愛理沙　優勝
山内風　準優勝
中村美優　ベスト4

建設技術系列の授業に

「材料実験棟」(仮称)を建築中

現在、本校悠久館横で新築工事が行われている。この建設中の建物は「材料実験棟」（仮称）で、昨年11月より着工、木造平屋建て、延べ床面積約100平方㍍で2月下旬の完成を予定している。同施設には「万能試験機」が備えられることになっており、この機械を使って建設工事に必要な材料であるコンクリートや鉄筋などの強度を測定することができる。完成すれば、来年度より建設技術系列の授業（「施工演習」他）が同施設で行われ、強度試験以外にもコンクリート供試体の製作、養生や「シュミットハンマー」による非破壊試験なども行う予定である。建設材料について今まで以上の知識や技術を学ぶことができ、関係職員、生徒も完成を心待ちにしている。

※万能試験機
材料試験機の中で、一つの機械で引張試験、圧縮試験など2種類以上の試験ができるもの。

※シュミットハンマー試験法
コンクリートに打撃を与え、返ってきた衝撃により強度を推定する反発硬度法の一つ。非破壊試験。

交通安全への意識高める

DVD視聴し交通安全講話

1月19日（月）の3限目、3年生を対象に「交通安全講話」を実施した。生徒は交通に関するDVDを視聴し、自動車や自転車での交通事故の恐ろしさ、交通事故で被害にあった家族の気持ちなど誰もが交通事故の加害者、被害者になる可能性があることを実感したようだった。また、安全運転のポイントや運転の際に注意しなければいけない場面の紹介、死角のことについて学んだ。3年生はもうすぐ卒業となるが、自動車免許を取得する生徒が多いため、交通安全への意識を高めてもらいたい。

月刊
新翔タイムズ
第78号
新翔タイムズ編集室
発行・熊野新聞社

規則ルール守る大切さ

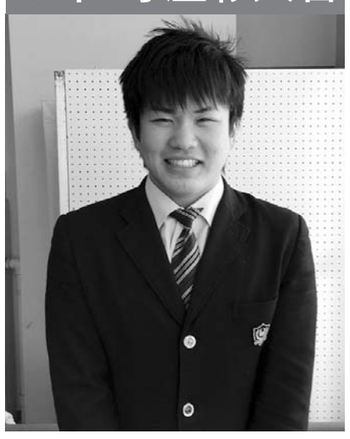
3学期始業式　永石校長式辞

1月6日（火）に第3学期始業式が行われた。永石校長は式辞の中で「3年生は学校生活も残りわずか。社会人になるための準備の期間をしっかり過ごして、有終の美を飾ってください。1・2年生は進級を前に、自分の将来について考え、学習に全力で取り組んでほしい」と述べた。また「規則やルールについてどのように考えて生活しているか。規則やルールは守ることで周りから信頼を得られるが、破ると信頼をなくし、被害を受けることもある。社会人になる前に規則を遵守する態度を身につけてほしい」と規則やルールを守ることの大切さを訴えた。

「もうひとつの花園」に出場

ラグビーU18合同チーム東西対抗戦

3年　守屋彰人君



1月7日（水）に第94回全国高等学校ラグビーフットボール大会の決勝戦が行われ、東福岡高校が圧倒的な強さで優勝した。その決勝戦の前に第7回U18合同チーム東西対抗戦が行われ、本校3年5組守屋彰人君が西日本代表として花園のピッチに立った。

別名『もうひとつの花園』と呼ばれる舞台に立つまでは何回もセレクションがあり、道のりは険しかった。昨年の3月、「平成25年度近畿地区高等学校普及指導講習会・第15回近畿高等学校少人数・15人制ラグビーフットボール交流大会」に和歌山県代表として出場した守屋君は、そこでの活躍が認められ近畿ブロック代表選手に選ばれた。次に、6月の「第12回関西高校少人数校ラグビー交流大会・指導講習会」に出場、同じく活躍が認められ、11月に開催された「第10回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」に近畿ブロック代表選手として出場した。1年を通して、3度のセレクションがあったが、すべてのセレクションで素晴らしいプレーをし、セレクターの目に留まり、東西対抗戦に出場するにいたった。

▽守屋彰人君
「最初の選考会の時から、周りのみんながすごくうまくて、まさか自分が選ばれ続け、最終的に西日本代表としてプレーできると思いませんでした。とても貴重な経験になりました」

▽得津監督
「本校では副キャプテンを務め、後輩はもちろん、同級生からも頼られる存在であり、チームの精神的支柱でもあった。ボールを持てば前に進んでくれる、何かしてくれるという期待感がある選手であった。また学校生活においても交友関係が広く、誰とでもコミュニケーションがとれ、話題の中心にいたと感じる。そういった人柄も加味され、東西対抗戦の選手に選ばれたのではないかと思う。大学に進学をし、ラグビーをすることが決定している。様々な面で壁にぶつかるかもしれないが、恐れることなく、ひたむきにラグビーに打ち込んでほしい。ラグビーを通して、人間性を磨き、素晴らしい大人になってくれることを期待している」

3年生

1年間の取り組み発表

「総合的な学習の時間」

3年生の「総合的な学習の時間」における、学年研究発表会が、1月7日（水）5限キャリア実習室において実施された。この発表会は3年生「総学」の授業の中で、調査研究制作を選択した生徒が、毎年最後の授業で発表するもので、今年度は服飾手芸から1組（2人）、進路関係から4人が発表した。最初に服飾手芸を選択した1組鈴木風花さんと4組梶侑華さんの2人が、「服飾手芸について」と題し、選択生11人全員の製作した作品をパワーポイントを使って紹介した。進路関係の選択生は、まず、1組榎本祥己君が、就職が内定している「三菱電機について」の発表を行った。続いて3組鍋羅拓弥君が「音楽について」、卒業後は金融関係に就職が内定している4組土佐杏花さんは「お金の歴史について」を、最後に大工として就職することが決まっている4組立花将大君は「世界の絶景について」を発表した。最後に、調査研究制作以外の各講座にも代表者を出してもらい、取り組みの内容を発表してもらった。学年全体で1年間の取り組みについて情報交換をし、今までにない有意義な内容で発表会を締めくくった。

さわやか声かけ運動

育友会も協力し登下校指導

1月6日（火）～9日（金）までの5日間、登下校指導を実施した。本校では登下校指導を毎月1回実施しているが、今回は育友会にもご協力をお願いした。厳しい寒さの中、教職員と保護者の方々がJR紀伊佐野駅、ナカミチ前、校門に分かれて7時50分～8時35分まで、生徒とあいさつを交わしながら、登下校時のマナー、モラルの向上、交通ルールの遵守などを呼びかけた。3年生には、学年末考査や卒業式に向け、気持ちを引き締めて自覚ある行動を心掛けてほしいという思い、1・2年生にはインターンシップや修学旅行と大きな学校行事が目前に迫っていることもあり、基本的生活習慣を身に付けることや服装・頭髪を正すことから自らの行動を見直し、学校生活に臨んでもらいたいという思いを込めながらの登下校指導であった。

※3年生の保護者の中には、3年間の登下校指導期間中、毎日校門に立っていただいた方がいらっしゃいます。心からお礼申し上げます。

マナー守って乗車を

朝の電車で「列車指導」

1月14日（水）に太地駅から紀伊佐野駅までの区間、16日（金）に新宮駅から紀伊佐野駅までの区間で、朝の電車に本校の教職員2人が同乗して、生徒たちに乗車マナーを指導する取り組みを行った。太地駅から紀伊佐野駅の車内は、一般の乗客は少なく他校を含め高校生がほとんどだった。乗客が多くて、座席に座れない生徒もたくさんいたが、立っている生徒も、マナーを守って乗車していた。今後も、マナーを守り、すべての人が気持ちよく乗車できるようにしてほしい。